

IT共同研究プロジェクト報告

東京路線トラック協議会は、平成19年度事業として昨年6月、「IT共同研究プロジェクト」を立ち上げ、会員間及び配達委託先など協力会社間の取引等で発生する連絡運輸又は共同輸配送に関する貨物情報をIT技術の利用により、業務効率向上と輸送品質向上等に役立てる情報システムについて検討を重ねた結果、別添 システム概要図 のとおり、ドライバーの軒先入力を基本とするシステム提供を目指すことになりました。今後は、本年3月のテスト結果を検証しながら、東路協会員のみならず、会員の協力会社、会員の貨物を取り扱う全国各地の共同配送事業者などに広く活用していただける営業支援システムに発展させたいと考えています。

本システムの特長は以下のとおりです。

1. ドライバーの軒先入力による効果として、事務員の後入力コスト対比で貨物1個当たり5.5円程度、また貨物問合せ機能の効果として、事務員の電話問合せコスト対比で貨物1個当たり6円程度のコスト削減を試算しています。
2. 本システムは東路協会のほか、会員の貨物を取扱う共同配送事業者等にも広く開放して利便性を提供する方向で準備を進めています。
3. 本システムの端末機（携帯電話&レーザー・スキャナー）は自社システムを持たない事業者や全国各地の共同配送事業者が購入しやすい価格帯となるよう共同購入方式等を検討しています。
4. システム利用料は、携帯電話会社のオプションサービス料金程度の価格帯に設定できる方向で調整しております。
5. 本システムは貨物追跡サービスのほか、配完データ、精算業務データ、車両稼働実態データ、個人別稼働実績データなど経営指標データの出力（一部オプション）に対応します。

平成20年2月12日

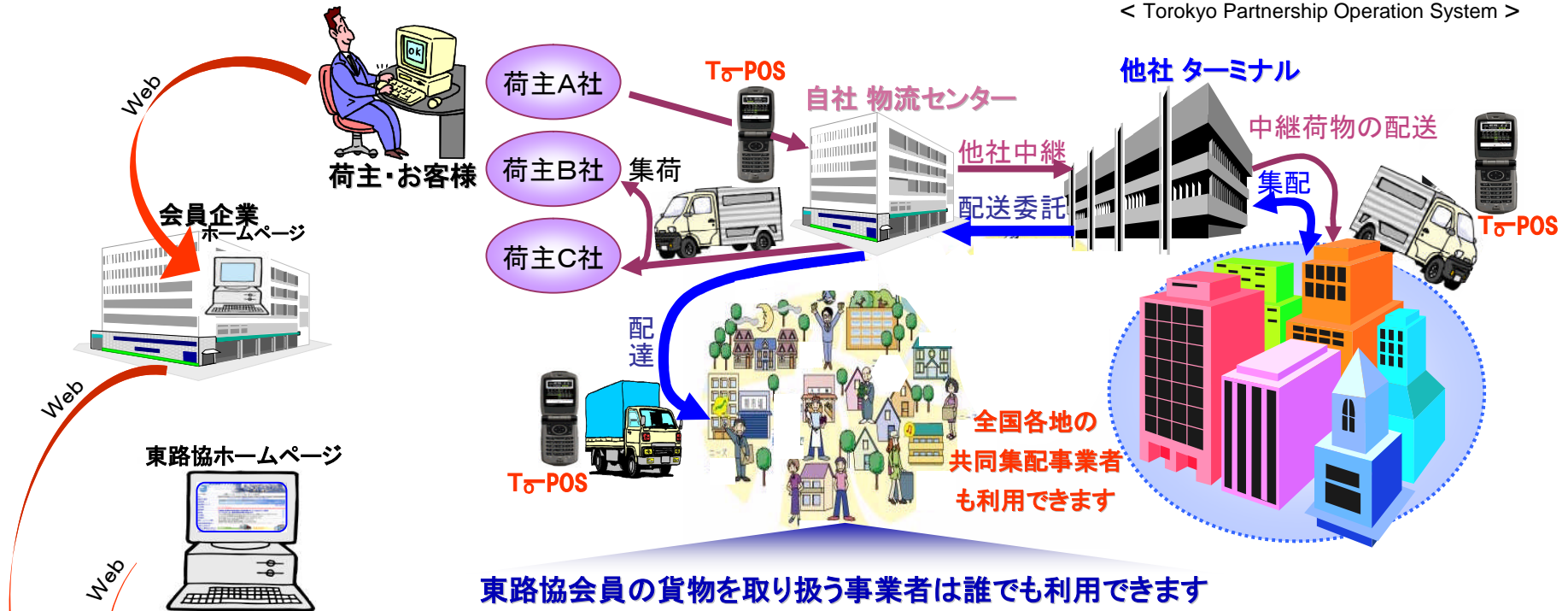
IT共同研究プロジェクト 座長 前田 善広（西濃運輸株式会社）

本件の問合せ先：東京路線トラック協議会 事務局

(03)3552-3345

携帯電話で貨物管理・・・東路協トレーシングシステム< T_o-POS >

< Torokyo Partnership Operation System >



東路協会員の貨物を取り扱う事業者は誰でも利用できます

定間隔に自動送信



サーバー運営会社

T_o-POS
(ティーポス)



無線自動通信



レーザー scanner

東路協システムの特長

1. 廉価なコストでリアルタイムな貨物管理を実現
2. 携帯電話とレーザー scanner のみの導入で実現
3. 会社コードと伝票番号で簡単紐付け
4. 伝票番号は9桁から16桁までに対応
5. 委託元伝票番号と自社コードのみでも接続可能
6. 自社ホームページから問合せDBに簡単接続
7. 運行実績・中継実績・未配完など管理データ出力
8. 精算個数・個人別・営業所別の実績データ出力
9. 携帯電話(T_o-POS)に問合せ機能付加...etc.

登録・利用の申し込み窓口は東路協事務局(03-3552-3345)

連絡中継業務の流れと情報の流れイメージ … 東路協トレーシングシステム < T-POS >

< Torokyo Partnership Operation System >

